

ビル・ウィルソン・セミナー間近！

— もう、ご予約に入られましたでしょうか？ —



いよいよ 7 月のセミナーが近づいてまいりました。

皆さん、お近くのセミナーをご予定に入れていただけましたでしょうか？ 忙しすぎて本当に重要なものを見失ってしまうことがないようにと心から願っています。

私たちは、どんなに忙しくても、お金がなくても、自分の趣味嗜好のためには時間もお金も最優先にするものです。また、病気の時には、どれほど大変な思いをしても病院に通うはずですよ。

まして、私たちの命のために役立つものならなおさらのこと、たとえ何かを犠牲にしても時間を使う価値はあるはずですよ。

そして、ビル・ウィルソン師のセミナーは、その一つですよ。

年に一度お会いできるかどうかかわからない、すばらしい機会ですから、ぜひご都合を付けてご参加ください。

今回は、皆様にご招待券も同封いたしました。どうぞ、ご家族や教会の兄弟姉妹、お知り合いの方々と一緒にお越しください。

5 月下旬に本部の国際会議に出席してきましたが、この働きの素晴らしさを改めて確認いたしました。ビル・ウィルソン師の変わらぬ信仰による情熱と行動力。現地スタッフの一途さ。

本当に熱心で、喜んで犠牲を払うスタッフが世界中から引き寄せられて働きに加わっています。その純粋さに触れて大いに恵まれ、支援の価値を実感しました。

皆さんが払った犠牲以上のものを必ず受け取って帰っていただけると確信しています。



全ての日程が決定しました。

詳細は、同封のチラシをご覧ください。
ご招待券在中！

アメリカの学用品支援！

1 口 3,500 円、

7 月 30 日〆切です。

同封のお申込用紙をご覧ください。
お申し込みください。

どなたでもご支援いただけます。

今月号の目次

P2…ブックバックのご案内

P2～3…メトロ・フィリピン視察
のご報告

P4…日本事務所からのお願いと
お知らせ／日本事務所の連
絡先など基本情報

アメリカのブックバッグをご支援ください

— 新年度に向けての学用品支援です —

支援が必要な理由

アメリカでは、公立の学校では高校卒業まで無料で教育を受けることができます。

しかし日本同様、教科書や文具の消耗品などが必要になってきます。それを準備するのは、貧しい親にとっては悩みの種である場合が多いのです。それ以外に、豊かな国に特有な問題もあります。

日本でも最近問題になり始めていますが、他の極貧の国と違って、住む家や社会保障があったり、何らかの仕事を持っていて、生きていくために必要な収入がある場合がほとんどです。

しかし、それを何に使うべきかを理解していない親が多いのです。

育児や教育に関心がなく、自分の欲求を満たすためにお金を使い果たし、学用品を準備しなければならないことを忘れていたり、そのつもりが最初からなかったりします。

そのため、新学期が始まろうというのに、子どものために何も準備をしないのです。

子どもには親の事情はわかりません。家が貧しくて学用品が準備できないという理解くらいしかできません。

何も持たずに学校へ行けば、子どもは貧しさを恥じ、ノートや鉛筆などがなくては授業に付いていくこともできなくなります。

勉強をしていなければ、きちんとした職に就くこともできず、親と同じ道をたどることになってしまいます。

また、学校に行かなくなると、すぐに悪い大人の餌食になってしまいます。

子どもたちが楽しく学校に通えるよう、準備をさせていたきたいのです。



メトロ・フィリピン視察ツアーのご報告3

メトロ・フィリピン視察ツアーを振り返って

今回のツアーは、フィリピンの子供たちの支援をしてくださっている皆様にも、実際に現地に足をお運びいただき、現地の雰囲気の中で体験し、子供たちにも直接、会っていただきたいと思い、計画しました。

結果的には、私を含めて12名で、出かけることができ、感謝でした。普通の海外旅行に比べると、食事やホテルの質も相当に違うので、少々心配していたのですが、皆様、旅の趣旨をちゃんと理解してくださり、思いのほか、喜んでくださって、本当に感謝でした。



街のいたる所に点在するゴミの山のそばに、スラムができ、生活圏になる。

衝撃の現場と活動のひたむきさ

何よりも、子供たちの住む環境は、今の日本人からすると、衝撃です。第2次大戦後のスラム化した時代を知らない世代には、本当にショッキングな、想像を絶する貧困と不衛生、危険な世界が広がっています。

そんな中で、メトロの働きを通して、一人でも多くの子供たちが、健康や教育、将来の幸せ、そして、何よりも主キリストによる救い、永遠の命に導かれることを願ってやみません。

自分で増築したキッチンを見せてくれたが、この床の構造は理解不能。家の中なのに申し訳ないが、日本人はとても裸足で歩けないので土足で見学。



世界中で開催されるメロの道端教会学校。



毎回、メロの働きの現場を訪れて感じるのは、フィリピンでもニューヨークでも、メロのスタッフたち、研修生、ボランティアのみんなが、本当に献身的に奉仕している姿への感動です。ドロドロに汚れた子供たちをしっかりと抱き上げ、キスをし…、二十歳前後の若い女の子なのに、スラムに平気で踏み入っての家庭訪問。一つの道端日曜学校の場所から、次の場所へと、黙々と機材を運搬し、設営していくみんな…。同行するたびに、本当にすごいと思わされます。

いつもご支援くださっている皆様へ。現地のメロ・スタッフたちは、精一杯頑張っています。

もし、皆様もチャンスがあれば、今後の企画の時に、ぜひ一緒にください。

改めての感謝に代えて、主キリストの圧倒的な祝福をお祈りします。— 万代栄嗣

日本人がスラム街に入って見学できる理由

メロのスタッフが訪問する場所や、道端教会学校を行う場所は実は、その国の中で最も危険な地域であることがほとんどです。その国の方々に話すと、そんな場所に行ったことも行こうと思ったこともないと言われることがしばしばです。

しかし、参加される方々は、ほとんどその危険性に気がきません。それは、メロのTシャツを着た顔見知りのスタッフが一緒にいるからです。

メロのスタッフが毎週その地域で教会学校を開催していることが地域の人々に高く評価されていることと、メロスタッフが、人々の寄りつかないような地域の奥まで毎週子どもたちを訪問していることが人々に受け入れられていること、そこから成長してきた子どもたちの姿を知っているからです。

そのため、メロの関係者だということがわかったら、人々は

大歓迎してくれますし、周りの危険から私たちを守ってくれているのです。

どこの道端教会学校でも、その地域のボランティアのようなお世話係が、自然と集まって、いろいろなお手伝いをしてくれます。

しかし、危険な地域であることは間違いがありませんので、スタッフは、はぐれている見学者がいると直ぐに立ち止まって集団からはぐれないように気を配ります。



みんなメロのスタッフが大好き。
訪問に行くと、近所からすぐに子どもたちが集まってきます

フィリピンの教会学校の特徴

フィリピンでは、地域の教会と協力関係を持っていて、各地区の道端教会学校の終わりに、それぞれの教会の先生やスタッフが、子どもたちに配る作りたての食事を運んできて配給してくれます。

子どもたちは、最初にもらったタグと引き替えに、自分で家から持ってきた器に食事を入れてもらい、嬉しそうにその場で直ぐに食べ始める子どももたくさんいます。

提携先の近隣教会のボランティアの方々が、大量の食事を運んでくる。子どもたちの目は食事に釘付け。教会学校が終わるとすぐにできたての食事がもらえる。嬉しそうに順番を待つて並ぶ子どもたち。



すぐに食事を始める子どもたち。シャイだが、人なつこくて写真を撮られるのが大好きです。

日本事務所からのお知らせとお願い

メールの重要なお願い。 必ず返信しています！

いただいたメールには、必ずご返事をしていきます。届いていますでしょうか？ 返事が届かない場合は、受信拒否設定になっています。

@マーク以下が、docomo.ne.jp, ezweb.ne.jp, softbank.ne.jp, vodafone.ne.jp など、昔からの携帯アドレスをご使用の場合は、パソコンからの受信が拒否されています。

お手数ですが、携帯ショップで、メトロのアドレス metrojapan@mission.or.jp を、受信可能に設定してもらってください。

また、前回もお知らせしましたが、F A Xの場合は、裏表の送信方向にご注意ください。

メトロと万代牧師のフェイスブックをご活用ください！

万代牧師のフェイスブックでは、メトロの活動をはじめ、各集会の予定などを随時発信しています。リアルタイムでの情報をご希望の方は、ぜひご活用ください。

 「万代栄嗣」で検索！

または右の QR コードから



メトロのフェイスブックは

<https://www.facebook.com/metrochildjapan/>

ビル師、万代師の、「偽物」のフェイスブックや LINE にご注意ください！

個人的な送金依頼は絶対にしませんし、口座は、レポートでお知らせするもののみです。

メトロの Web 情報をご活用ください！

メトロ・ワールド・チャイルドの日本事務所では、ネット上にも情報を掲載しています。

ブログ、Facebook、LINE@などで、情報提供をしていますので、ぜひご覧いただき、友だち登録をお願いいたします。

また、レポートやセミナーの情報など、できるだけシェアしていただけると感謝です。

今回のセミナーも、ビル先生がせっかく日本にまで足を運ばれますので、ぜひ一人でも多くの方々と共にご参加ください。

お知り合いの教会の方や先生方、教会学校のご

担当者、キリスト教関連の学校や幼稚園など、お知り合いの方々にぜひお知らせください。

各サイトのアクセスは、以下からお願いいたします。それぞれの、QR コードを読み取っていただければすぐに接続できます。

ブログ(seesaa ブログ)

<http://metrojapan.seesaa.net/>



フェイスブックページ

<https://www.facebook.com/metrochildjapan/>



LINE@ (公式の LINE)

LINE から検索するか、QR コードリーダーをご使用ください



メトロ・ワールド・チャイルド日本事務所

所在地 〒104-0061

東京都中央区銀座 4-5-1

教文館 6 階 T F C 内

電 話 03-3561-0174

F A X 089-925-1501

メール metrojapan@mission.or.jp

すべてのお振り込みは、同封の郵便振替用紙をご利用いただくか、下記宛にお願いいたします。

ゆうちょ銀行：一六九店 当座預金 0041610

郵便局：記号番号 01650-3-41610

口座名義はどちらも同じ

メトロ・ワールド・チャイルド・ジャパン